

平成 30 年度 栄区セーフコミュニティアンケート 集計概要

1 調査の対象

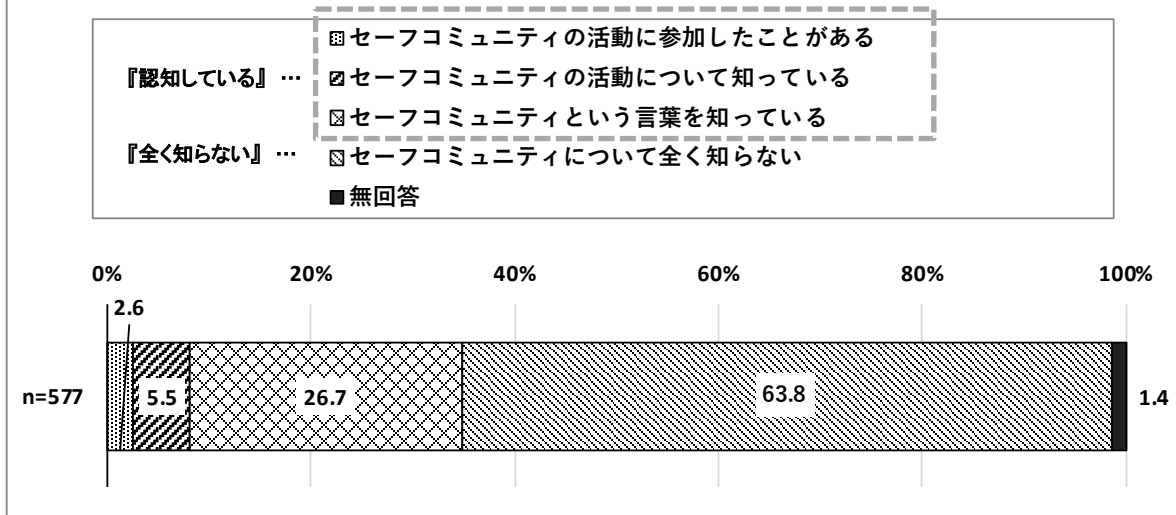
- 対象者：住民基本台帳から無作為抽出した栄区在住の 20 歳以上の男女 1,500 人
- 実施時期：平成 30 年 11 月 2 日（金）～11 月 23 日（金）
- 実施方法：郵送配布、郵送回収
- 設問数：20 問
- 回答者数：577 件（回収率 38.5%）

2 結果の概要

【1 セーフコミュニティ全体】

- (1) セーフコミュニティの認知度：3 割強の区民が何らかの形でセーフコミュニティを認知している
セーフコミュニティについて「活動に参加したことがある」「活動について知っている」「言葉を知っている」を合わせた『認知している』方が 34.8%、『全く知らない』方が 63.8%となっています。

問1 「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。

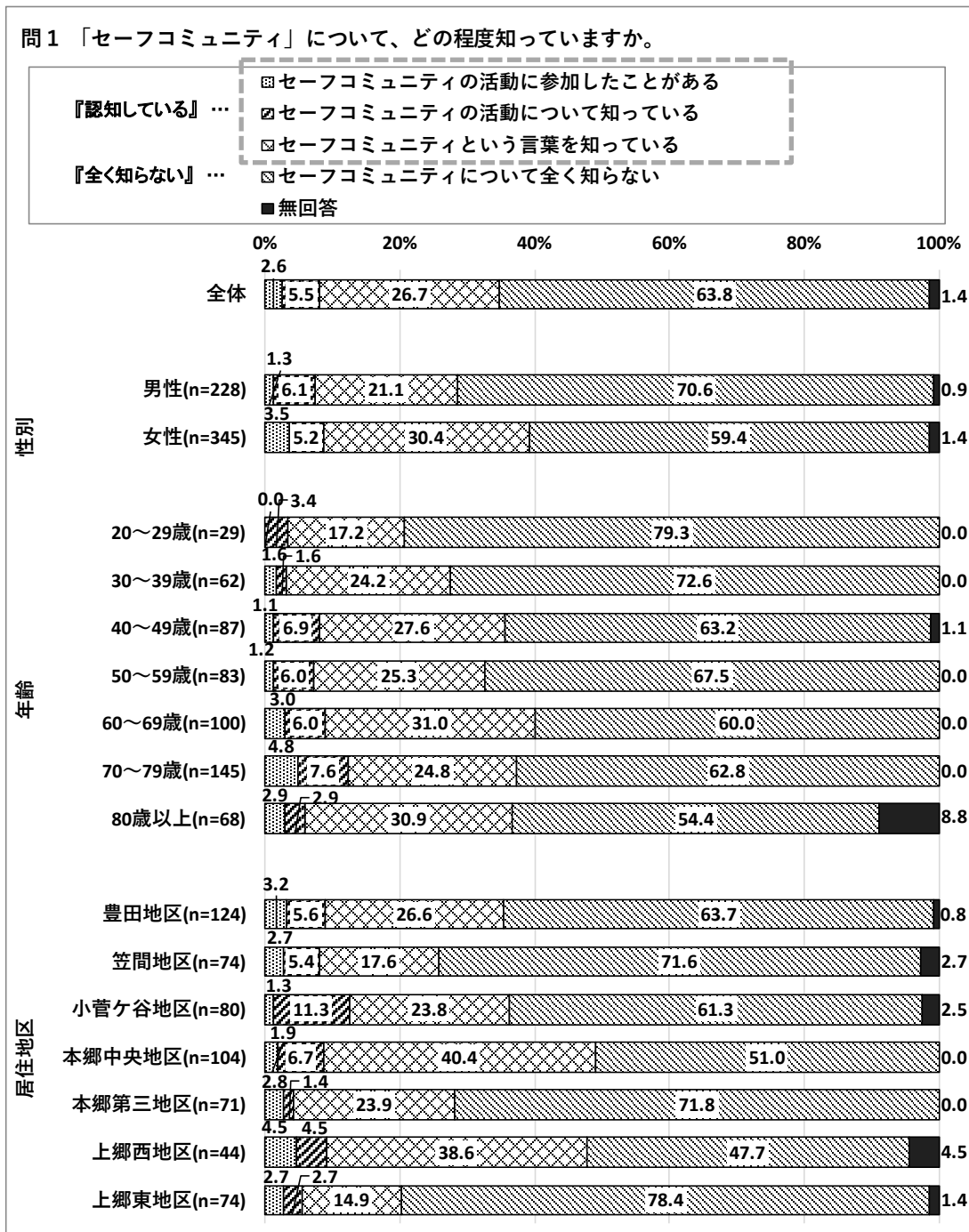


(1) 属性別セーフコミュニティの認知度：女性の方が、男性よりもセーフコミュニティを認知している

『認知している』割合は、「女性」が 39.1%と「男性」の 28.5%に比べて 10.6 ポイント高くなっています。

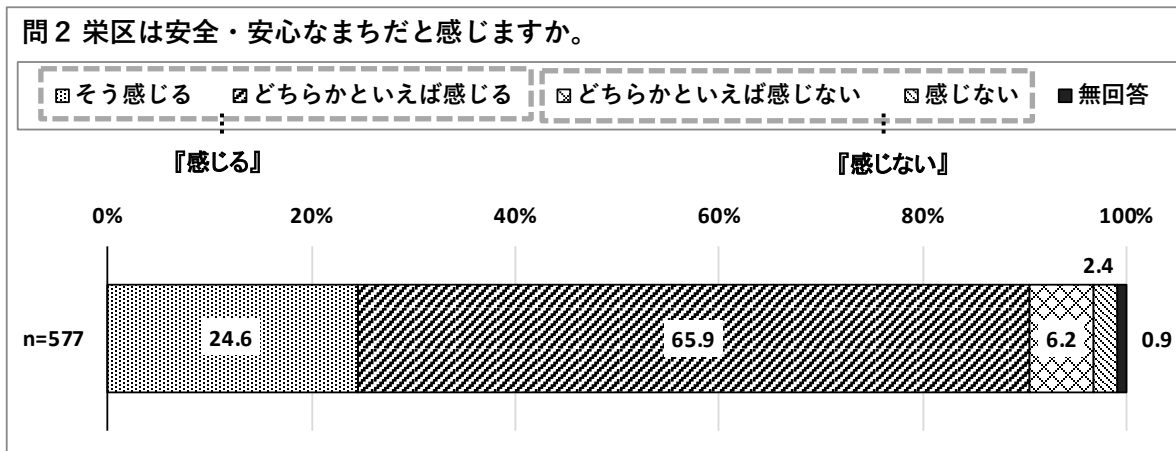
年齢別では、「20～29 歳」「30～39 歳」の「全く知らない」割合は 7 割以上となっている一方、「60～69 歳」では、『認知している』割合が 40.0%と全体より 5.2 ポイント高くなっています。

居住地区別では、「本郷中央地区」「上郷西地区」で『認知している』割合が、それぞれ 49.0%、47.7%と全体より 10 ポイント以上高く、「上郷東地区」では「全く知らない」割合が 78.4%で、全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。



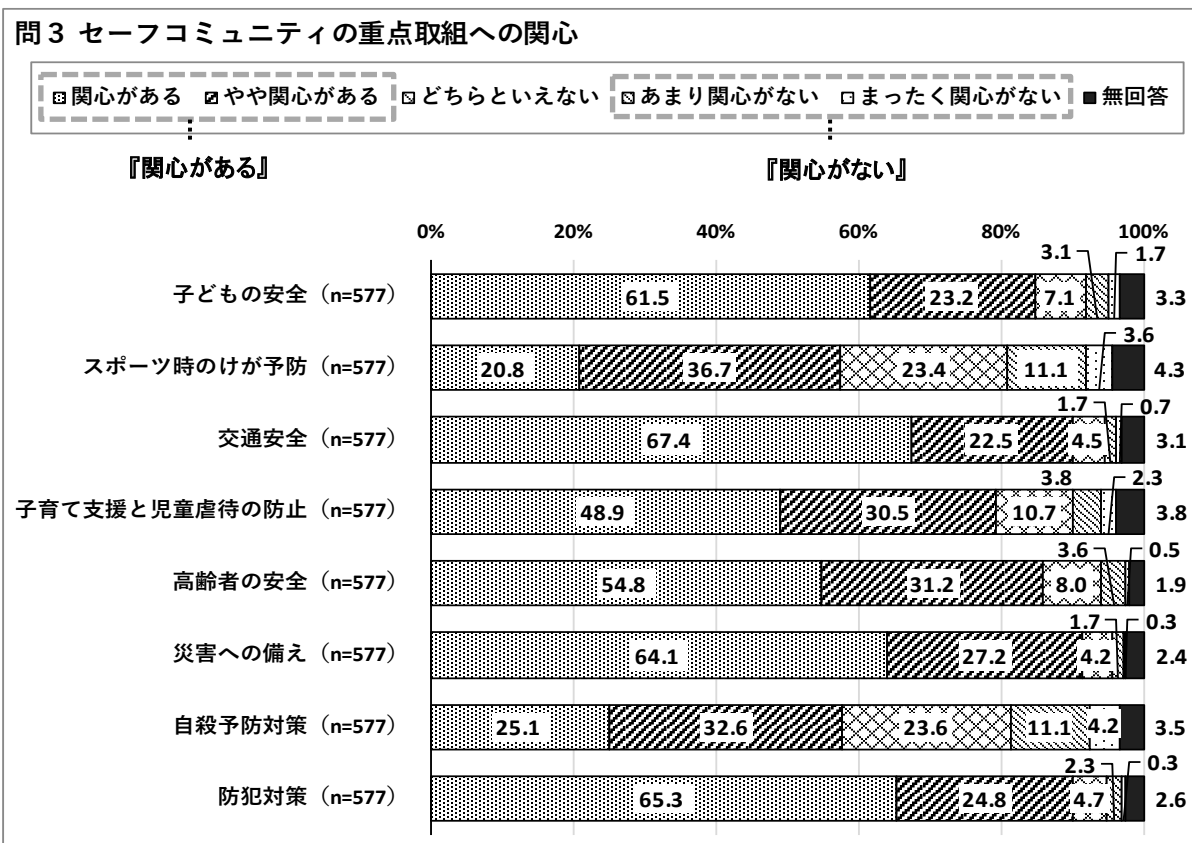
(2) 安全・安心への実感：9割の区民が栄区を安全・安心なまちだと感じている

栄区が安全・安心なまちだと感じるかどうかについて「そう感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』方が90.5%、「どちらかといえば感じない」「感じない」を合わせた『感じない』方が8.6%となっており、約9割の区民が安全・安心なまちだと感じています。



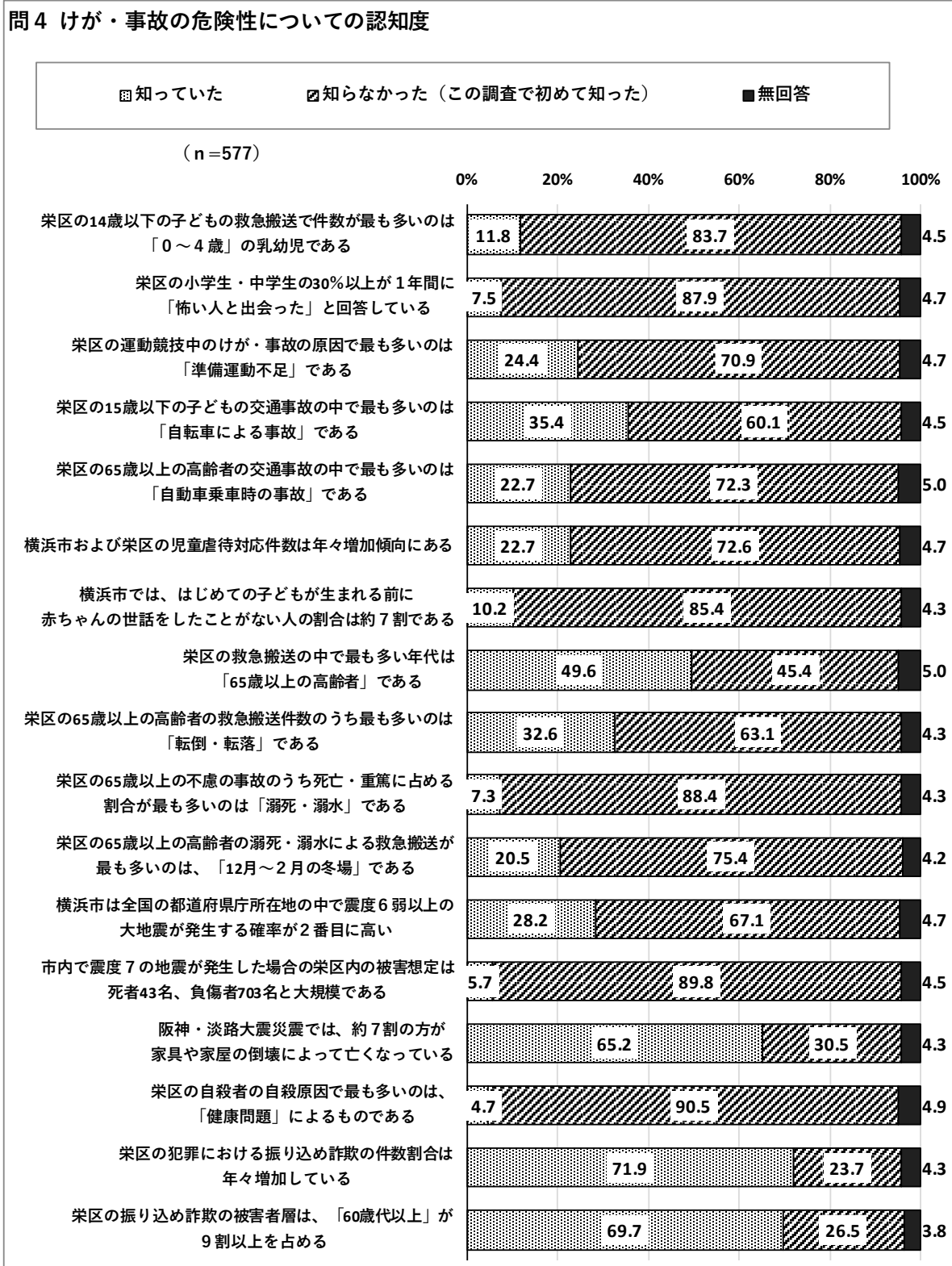
(3) セーフコミュニティの重点取組への関心：災害への備え、防犯対策、交通安全に高い関心が寄せられる一方、スポーツ時のけが予防、自殺予防対策への関心は比較的低い

セーフコミュニティのそれぞれの重点取組への関心について、「関心がある」「やや関心がある」を合わせた『関心がある』は、「災害への備え」「防犯対策」で9割以上、「子どもの安全」「交通安全」「高齢者の安全」で8割以上なのに対し、「スポーツ時のけが予防」「自殺予防対策」では6割以下と大きく隔たりがあります。



【2 日常生活におけるけが・事故の危険性】

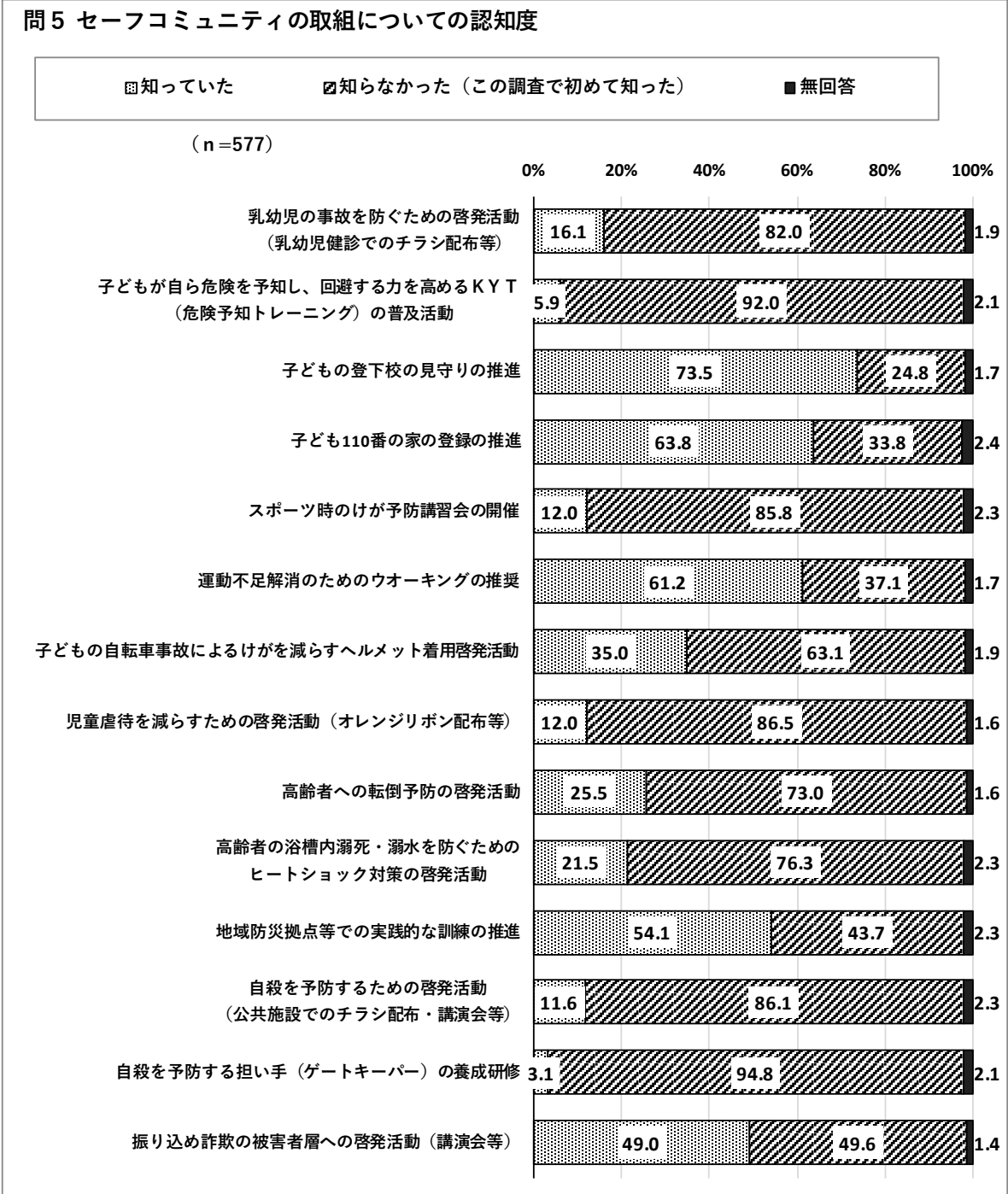
(4) けが・事故の危険性の認知度：振り込め詐欺に関する危険性について知っている区民が7割前後
 けが・事故の危険性について、振り込め詐欺に関する2問は「知っていた」方が70%前後と高い割合になりました。その一方、栄区の自殺者の自殺原因と市内で震度7の地震が発生した場合の栄区内の被害想定
 について「知っていた」方は5%前後と、低い割合となっています。



【3 セーフコミュニティの取組】

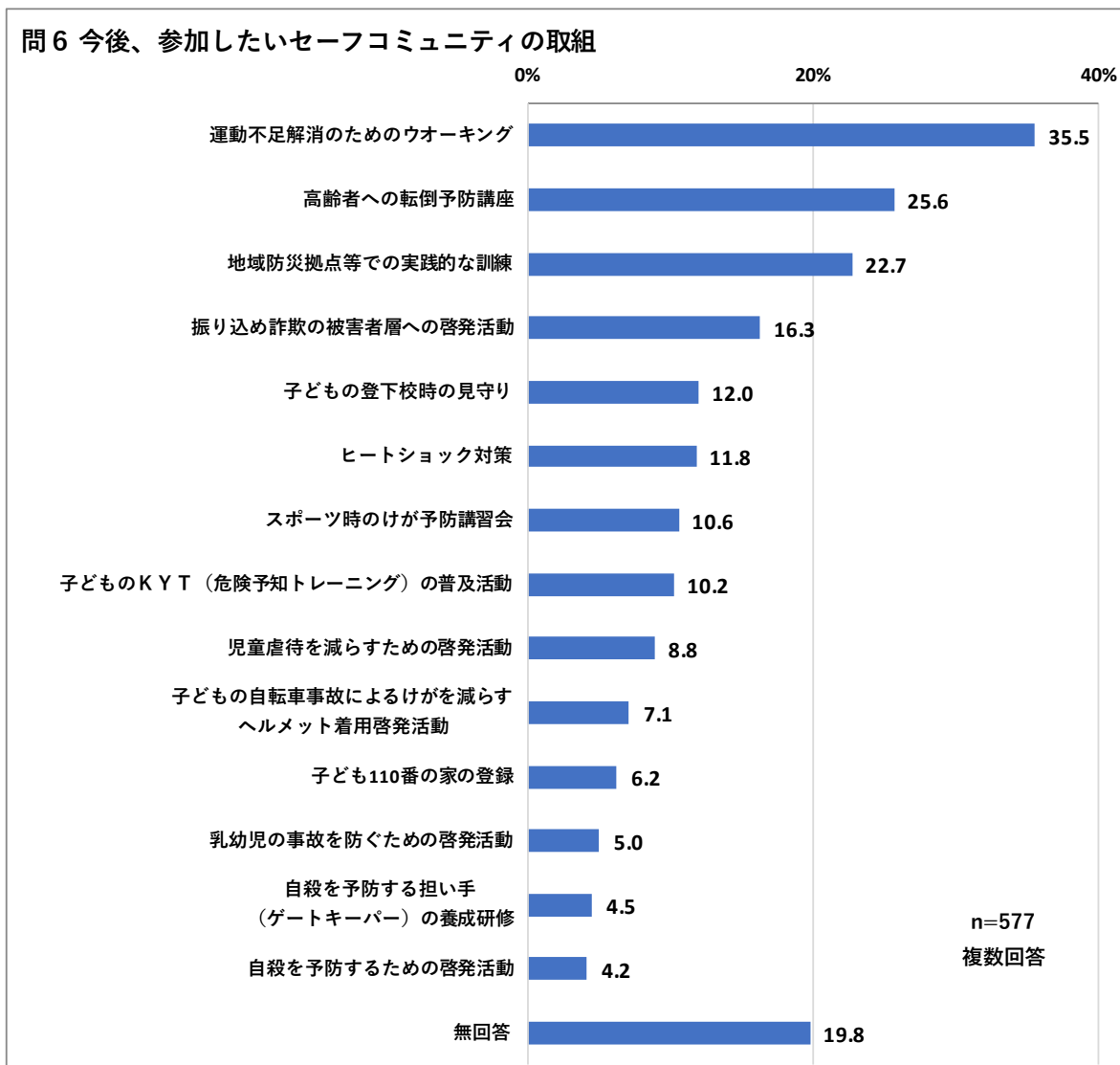
(5) けが・事故等の予防の取組についての認知度：「子どもの登下校の見守り」「子ども 110 番の家の登録」は知っていた区民が多い

セーフコミュニティの取組について「知っていた」の割合は「子どもの登下校の見守りの推進」が 73.5%で最も多く、次いで「子ども 110 番の家の登録の推進」(63.8%)、「運動不足解消のためのウォーキングの推奨」(61.2%)の順となりました。その一方、「自殺を予防する担い手(ゲートキーパー)の養成研修」「子どもが自ら危険を予知し、回避する力を高めるKYT(危険予知トレーニング)の普及活動」を「知っていた」の割合は1割以下となっています。



(6) 参加したいセーフコミュニティの取組：今後、最も参加したい取組は「運動不足解消のためのウォーキング」

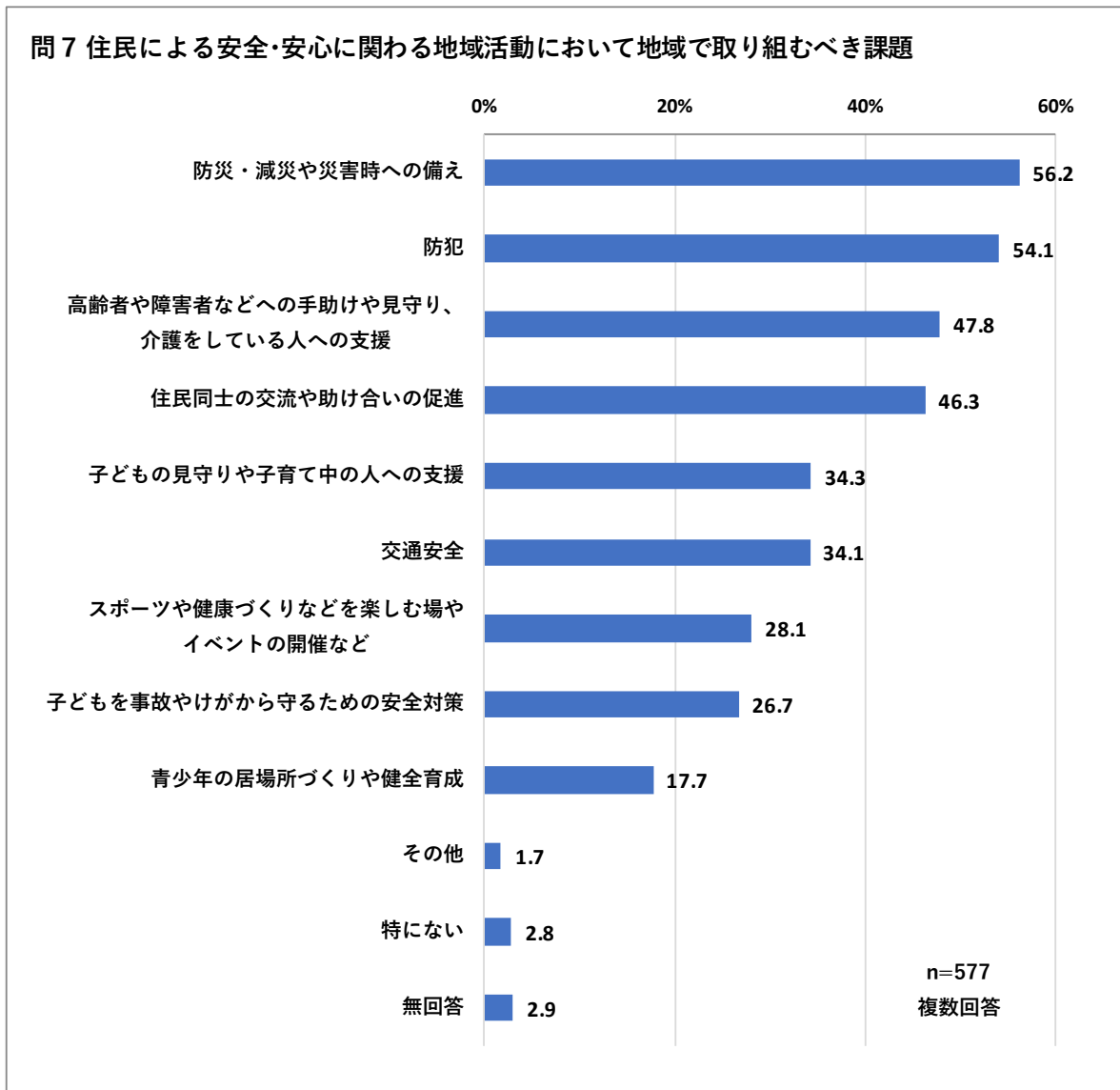
今後、参加したいセーフコミュニティの取組で最も多く挙げられたのは「運動不足解消のためのウォーキング」で 35.5%、次いで「高齢者への転倒予防講座」(25.6%)、「地域防災拠点等での実践的な訓練」(22.7%)の順となりました。一方、「自殺を予防するための啓発活動」と「自殺を予防する担い手(ゲートキーパー)の養成研修」を挙げた方は5%未満となっています。



【4 安全・安心に関する質問】

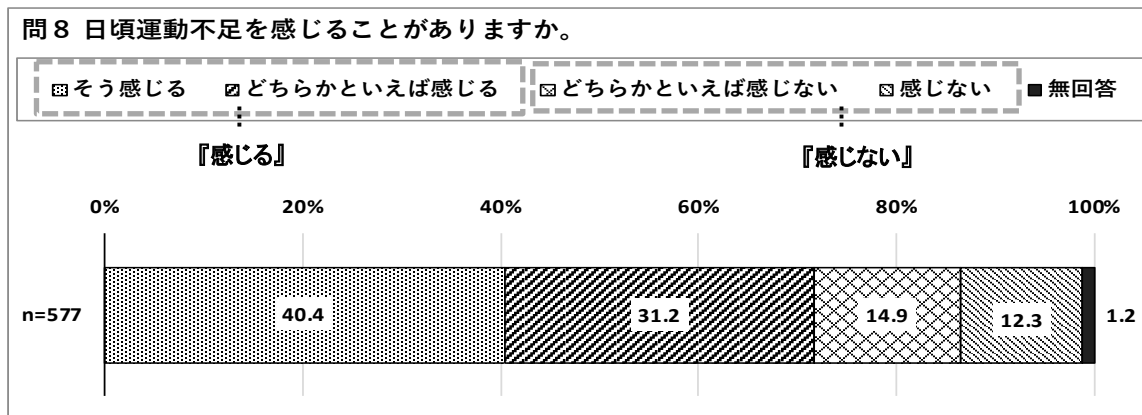
(7) 地域で取り組むべき、安全・安心に関わる地域活動：最も地域で取り組むべき課題は「防災・減災や災害時への備え」

住民による安全・安心に関わる地域活動において地域で取り組むべき課題で最も多く挙げられたのは「防災・減災や災害時への備え」で 56.2%、次いで「防犯」(54.1%)、「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」(47.8%)、「住民同士の交流や助け合いの促進」(46.3%)の順となりました。一方、「青少年の居場所づくりや健全育成」を挙げた方は 2 割以下となっています。



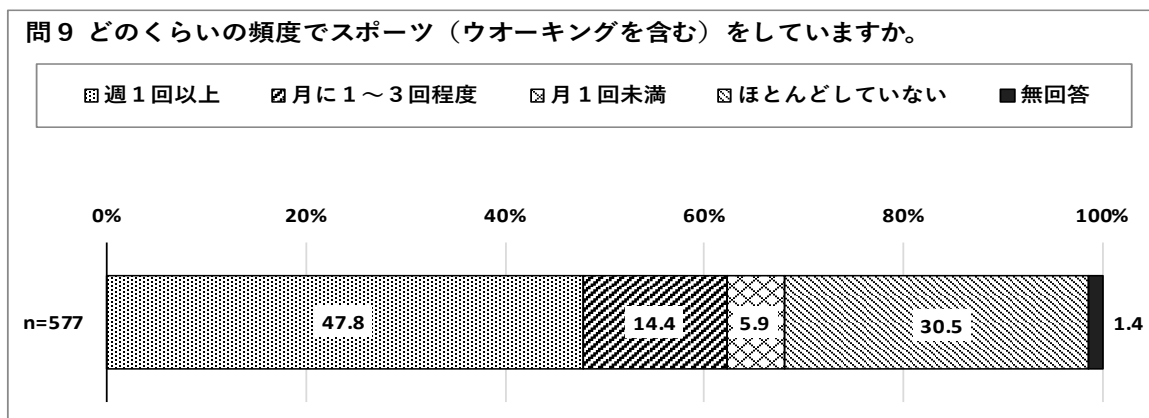
(8) 運動不足の実感：7割以上の区民が日頃運動不足だと感じている

日頃運動不足を感じるかどうかについて「そう感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた『運動不足だと感じる』方が71.6%、「どちらかといえば感じない」「感じない」を合わせた『運動不足だと感じない』方が27.2%となっており、7割以上の区民が日頃運動不足だと感じています。



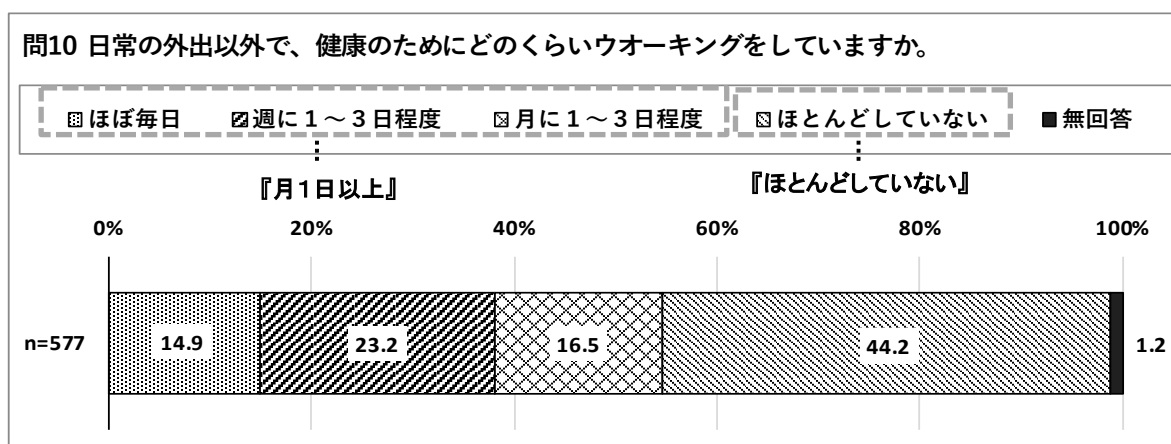
(9) スポーツをする頻度：約5割の区民が、週1回以上スポーツをしている

スポーツをする頻度については「週1回以上」スポーツをしている方は47.8%となりました。一方、「ほとんどしていない」と回答した方は30.5%となっています。



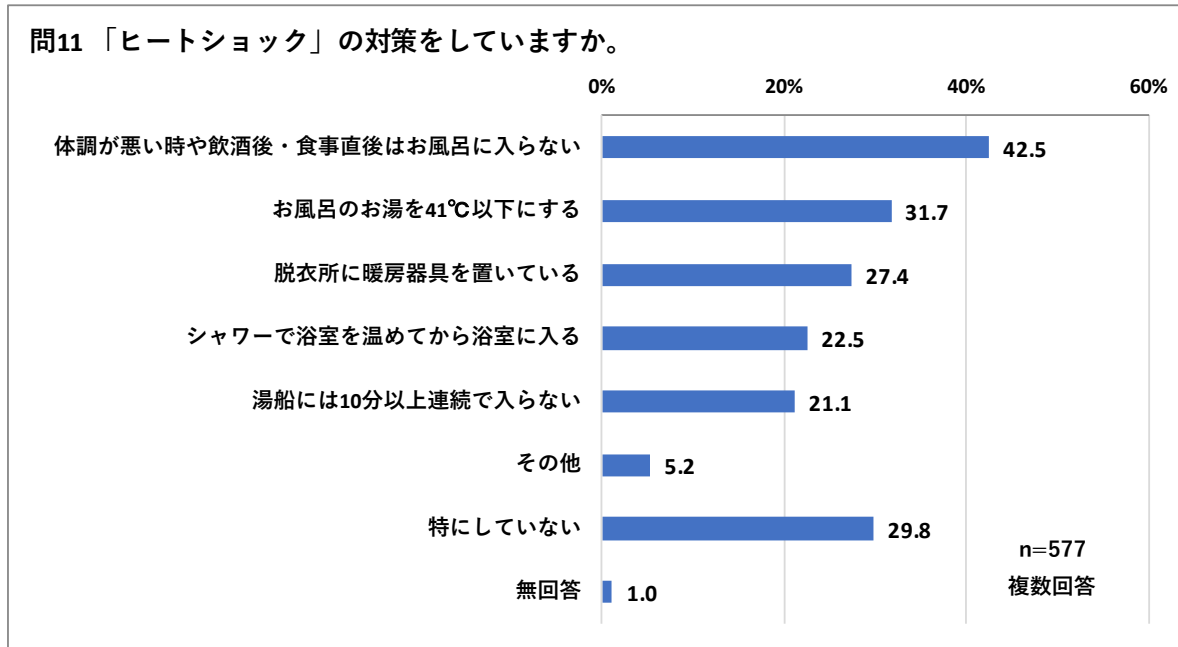
(10) ウォーキングをする頻度：5割以上の区民が、月に1日以上ウォーキングをしている

日常の外出以外で、健康のためにどのくらいウォーキングをしているかという質問について「ほぼ毎日」「週に1~3日程度」「月に1~3日程度」を合わせた『月に1日以上ウォーキングをしている』方は54.6%となりました。一方、「ほとんどしていない」方が44.2%となっています。



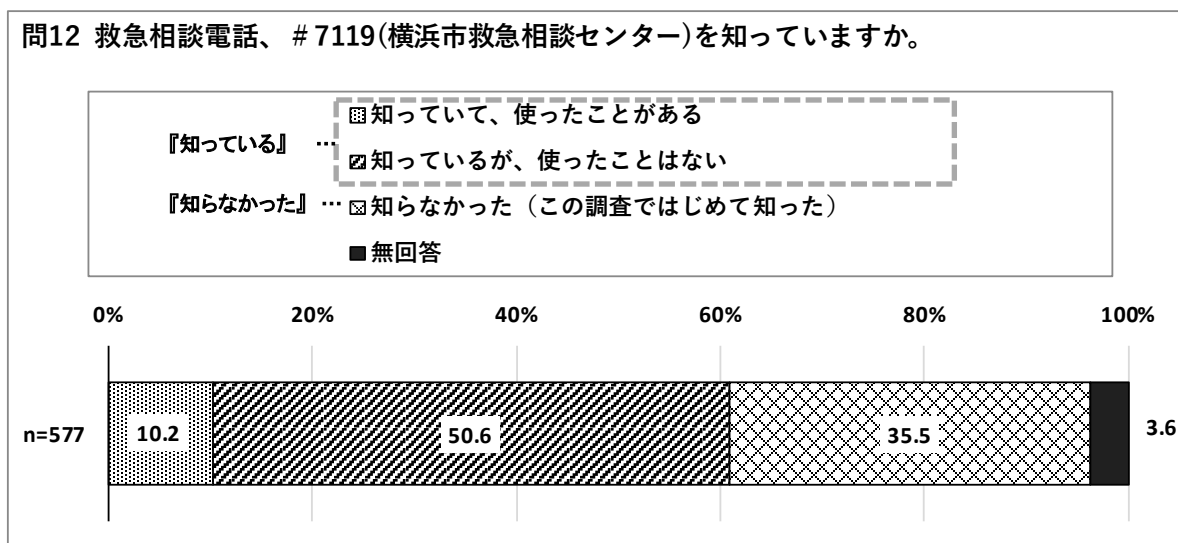
(11) 「ヒートショック」の対策：4割以上の区民が体調の悪い時や飲酒后・食事直後はお風呂に入らない事を実践している一方、約3割の区民は特に対策をしていない

区民が行っている「ヒートショック」の対策については「体調が悪い時や飲酒后・食事直後はお風呂に入らない」が42.5%で最も多く、次いで「お風呂のお湯を41℃以下にする」(31.7%)、「脱衣所に暖房器具を置いている」(27.4%)の順になっています。一方、「特にしていない」は29.8%となっています。



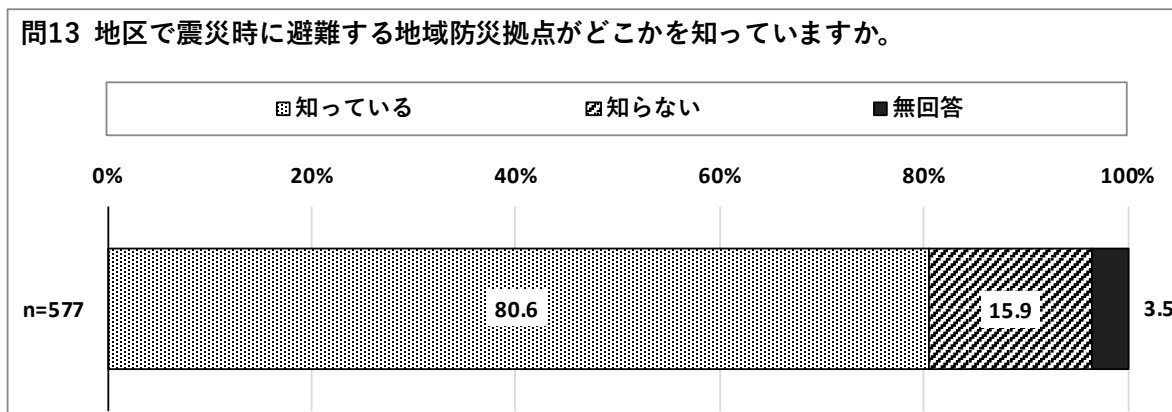
(12) 救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)の認知度：1割の区民は使ったことがあり、「知っているが使ったことはない」を合わせると6割以上の区民が認知している

救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)については「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」を合わせた『知っている』割合は60.8%となりました。また、「使ったことがある」方は全体の1割となっています。一方、「知らなかった(この調査ではじめて知った)」方は35.5%となっています。



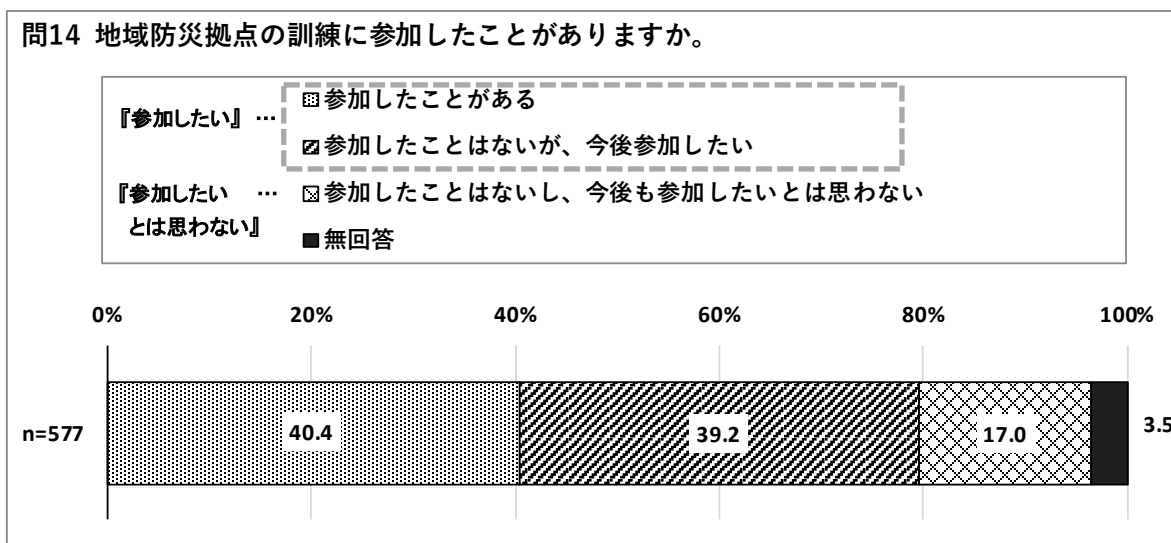
(13) 地域防災拠点の認知度：地区で震災時に避難する地域防災拠点を知っている区民は8割

地区で震災時に避難する地域防災拠点を「知っている」方が 80.6%と、「知らない」方を大きく上回る結果となりました。



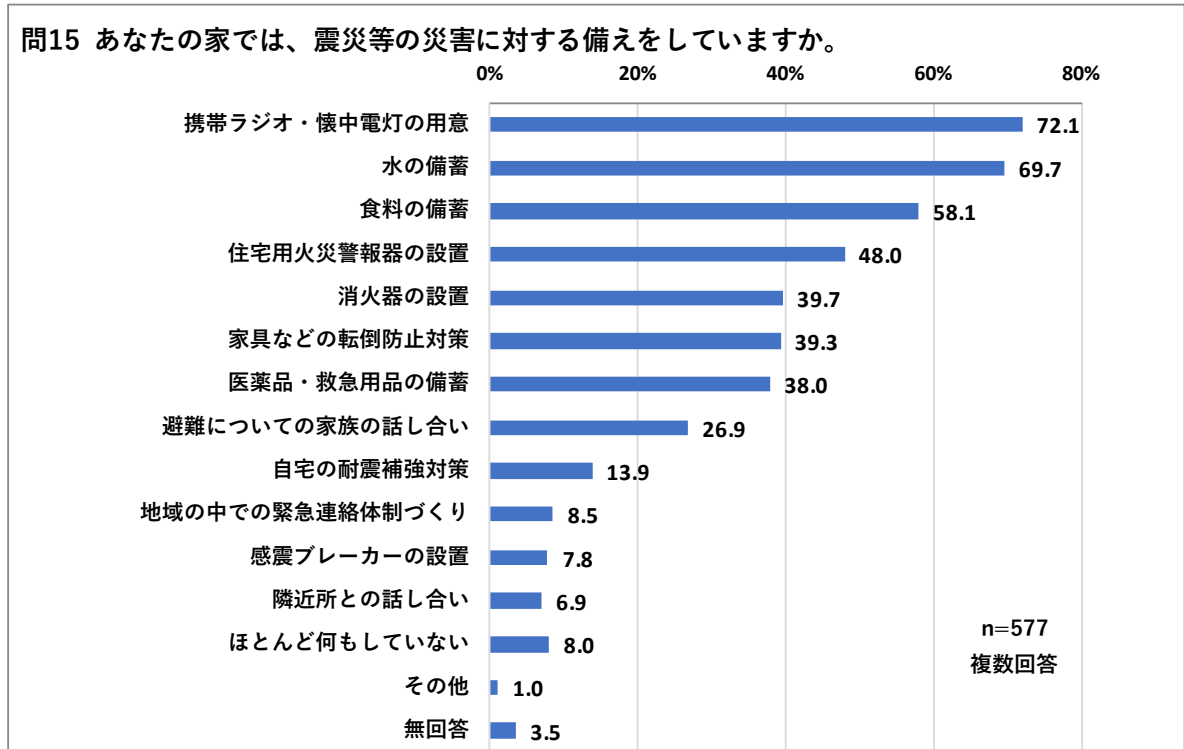
(14) 地域防災拠点の訓練の訓練に参加したことがある割合：約8割の区民が地域防災拠点の訓練に積極的に参加する意思を持っている

地域防災拠点の訓練に「参加したことがある」「参加したことはないが、今後参加したい」を合わせた『参加したい』の割合は 79.6%となっており、約8割の区民が地域防災拠点の訓練に参加したことがある、もしくは参加する意思があります。

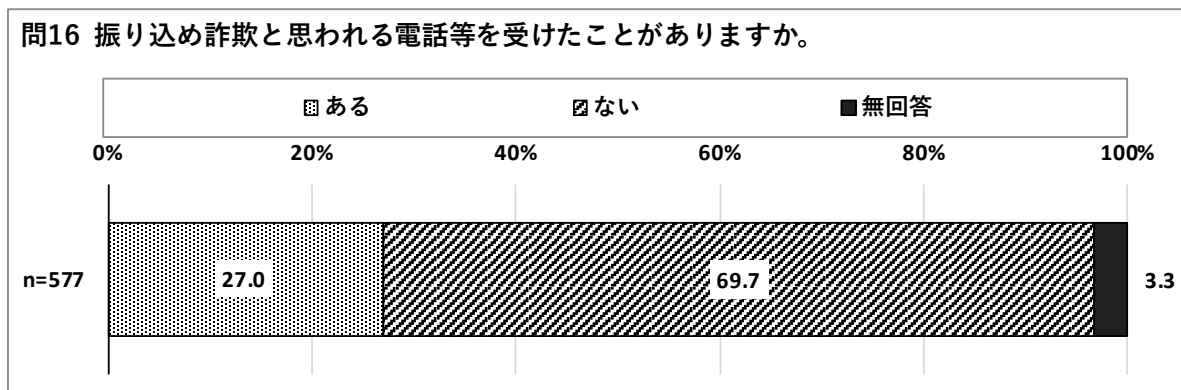


(15) 震災等の災害に対する備え：5割以上の家で「携帯ラジオ・懐中電灯の用意」と「水・食料の備蓄」がされている一方、ほとんど何もしていない家は1割以下

区民が行っている震災等の災害に対する備えについては「携帯ラジオ・懐中電灯の用意」が72.1%で最も多く、次いで「水の備蓄」(69.7%)、「食料の備蓄」(58.1%)、「住宅用火災警報器の設置」(48.0%)の順になっています。一方、「ほとんど何もしていない」は8.0%となっています。

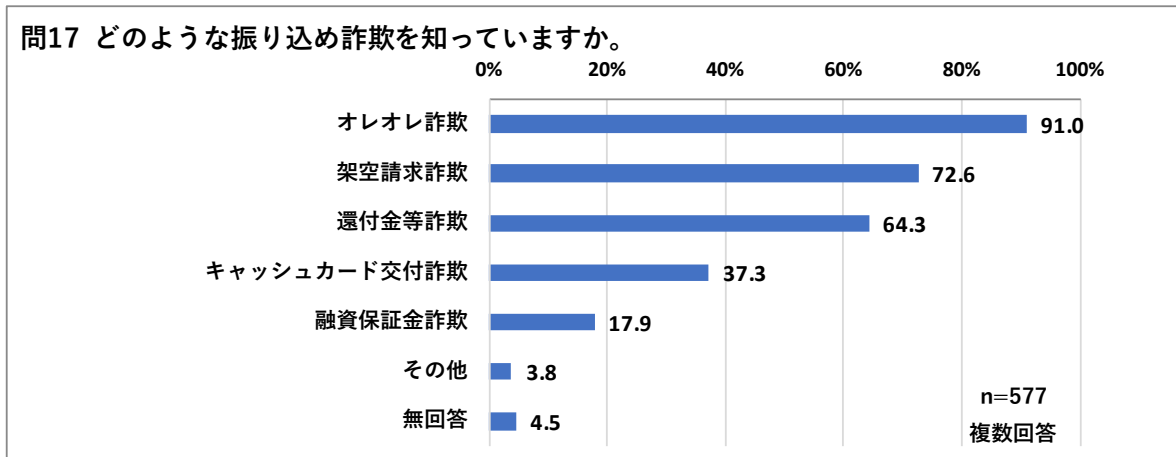


(16) 振り込め詐欺の受電経験の有無：3割弱の区民が振り込め詐欺と思われる電話を受けたことがある
振り込め詐欺と思われる電話を受けたことがある区民は27.0%となっています。



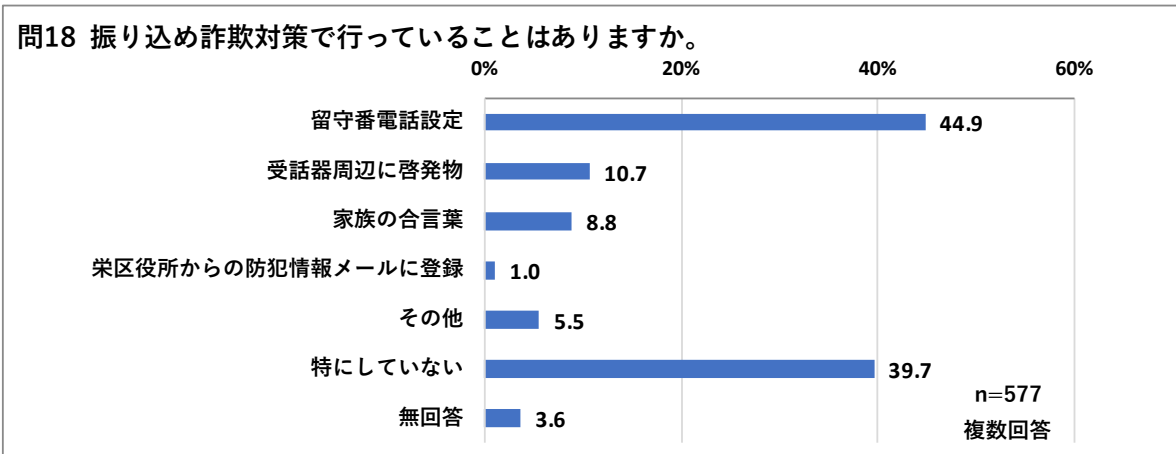
(17) 知っている振り込め詐欺：知っている振り込め詐欺で最も多いのは「オレオレ詐欺」

知っている振り込め詐欺対策で最も多く挙げられたのは「オレオレ詐欺」が 91.0%、次いで「架空請求詐欺」(72.6%)、「還付金等詐欺」(64.3%)の順となっています。



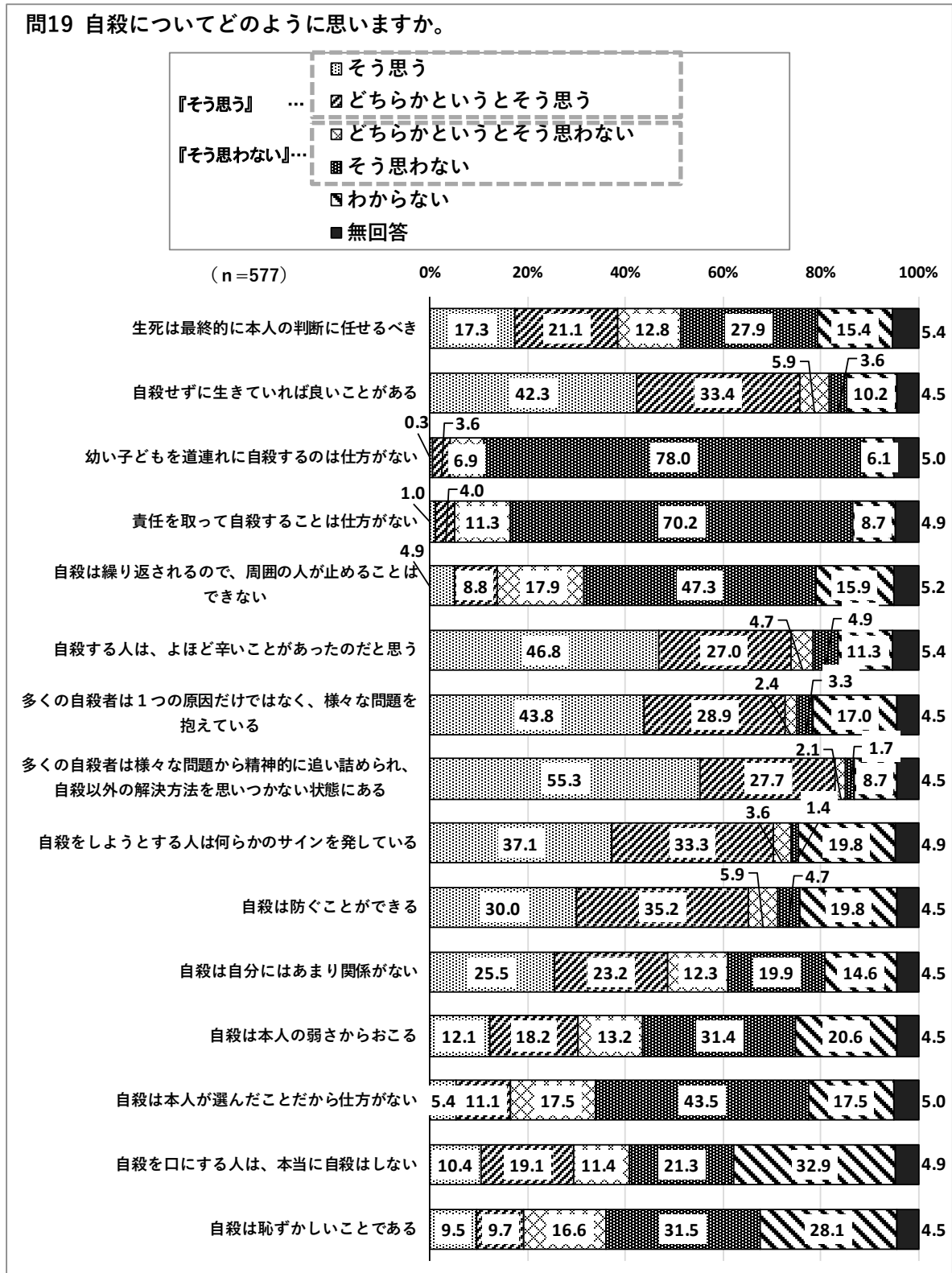
(18) 行っている振り込め詐欺対策：振り込め詐欺対策として「留守番電話設定」を約半数の区民が行っている一方、特にしていないが約4割

行っている振り込め詐欺対策で最も多く挙げられたのは「留守番電話設定」が 44.9%、次いで「受話器周辺に啓発物」(10.7%)、「家族の合言葉」(8.8%)の順となっている一方、「特にしていない」が 39.7%となっています。



(19) 自殺についての考え方：「多くの自殺者は様々な問題から精神的に追い詰められ、自殺以外の解決方法を思いつかない状態にある」と考えられている

自殺についての考え方について、「多くの自殺者は様々な問題から精神的に追い詰められ、自殺以外の解決方法を思いつかない状態にある」は「そう思う」方が5割以上、「幼い子どもを道連れに自殺するのは仕方がない」「責任を取って自殺することは仕方がない」は「そう思わない」方が7割以上と高い割合になっています。



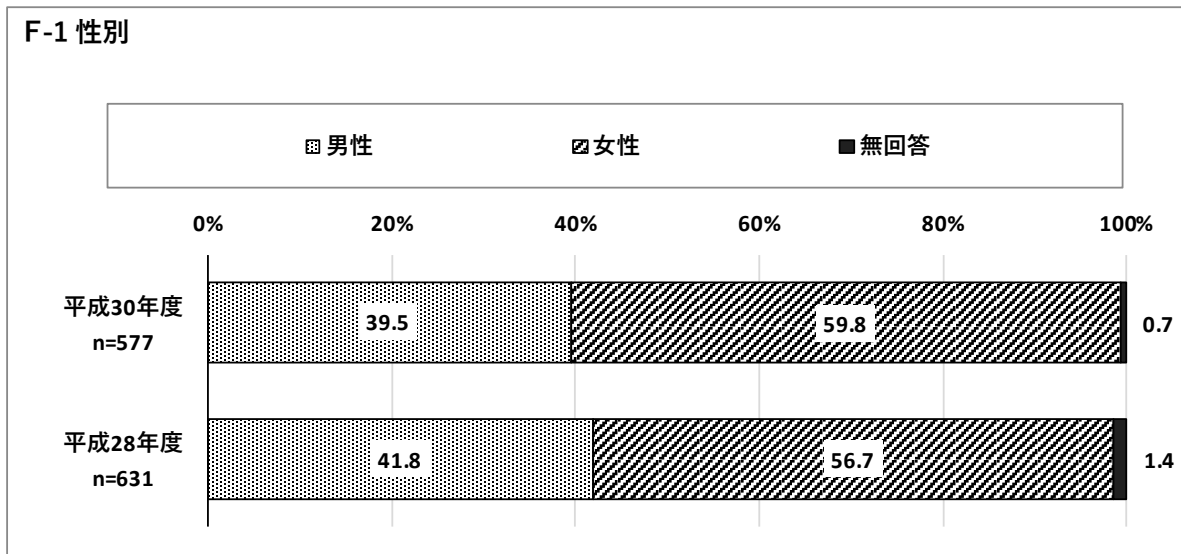
(20) セーフコミュニティについてのご意見やご要望

セーフコミュニティについてのご意見やご要望に関する自由記述欄には、全部で 65 件（11.3%）の回答がありました。

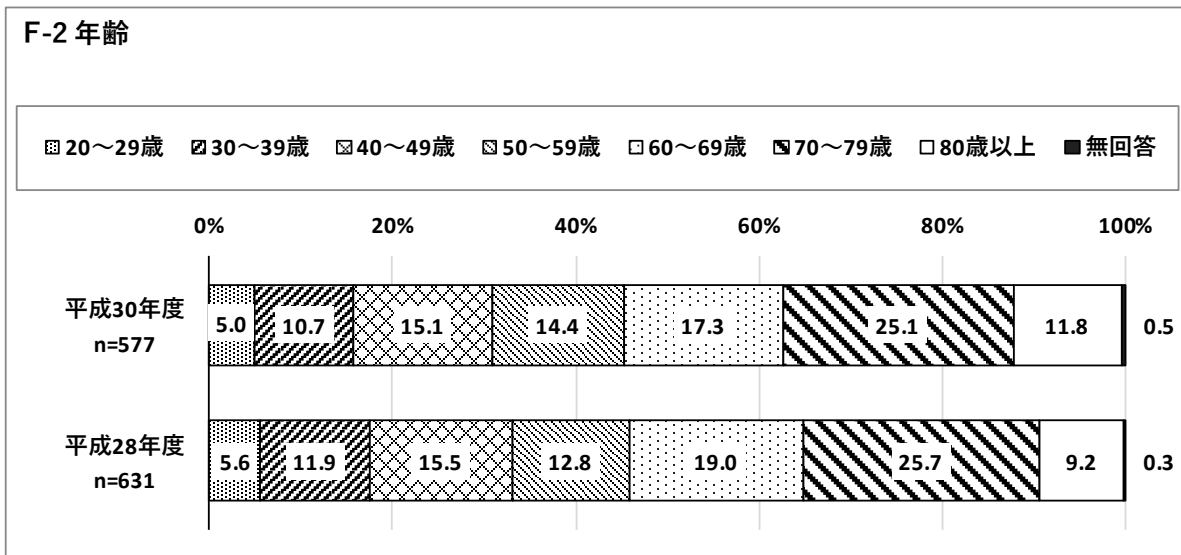
意見の種類 (大分類)	件数	意見の種類 (中分類)	主な意見内容
感想	20	13 肯定 (満足・前向き)	・『横浜市』ではなく『栄区』という単独でのセーフコミュニティ都市に選ばれたのは素晴らしい事である。 ・継続は「力」です。5年後の再認証に向けてガンバロー！ ・PDCAサイクルというのはプラン→ドゥ→チェック→アクションのことで知り大切だと思いました。
		3 否定 (不満・不安・疑問)	・赤ちゃんからお年寄りまで誰もが住みやすい、全国のモデルのような街になるように、私も栄区民として協力したい。
		1 意見・提案・要望	・セーフコミュニティに認証されていることは、図書館などの広告で知っていましたが、詳細は理解していませんでした。子どもたちにもアンケートの内容を読ませました。調査に参加できてよかったです。
		3 どちらでもない (その他)	・セーフのワクが広すぎると思う。サギと自然災害では、注目度が人により大きく変動すると思う。 ・今は生きづらい。情報も多く知らなくていい事も知りすぎて悩む精神が強い人になりたい。孫のいじめ等考えると、心配します。若い人の自殺は助けられなかったのか。虐待も昔はなかったし。 ・アンケート内容を見て思った事が、行政が出来る範囲の対策と行政だけでは解決不可能な問題もあるように感じた。活動内容は根本的解決に有効か否か仕掛けて、もう少し絞るべきだと思う。
プロモーション (広報)	18	3 肯定 (満足・前向き)	・区から配布されるチラシ・お知らせ等、よく目を通す様心掛けます。
		2 否定 (不満・不安・疑問)	・この取組が全区民に誰にでも、簡単に分る、伝える様になるといいと感じます。何よりこのことが1人でも多くの人に理解されること全区民が何らかの活動に参加することが、よりよい環境につながるのかと思います。まずは、周知を。
		12 意見・提案・要望	・どのような取組をしているのか、簡単にまとめたリーフレットなどがあると良いかも。 ・駅前でタッチー君を用いたイベントなどを開催することで人目を引き興味を持ってくれる人が多いと思う。「セーフコミュニティ」は今後の活動と、理解しました。私には、現在のところ、その活動の中身が見えていません（当然ですが）。指導者（区役所）が、明確な方針（課題、目標、方策）管理を打ち出し、区民ファーストで課題を達成することを期待いたします。実施項目を検討される時、やはりニーズを考慮して、年齢別とか、主婦、職種、など考されたいと思います。
		1 どちらでもない (その他)	
災害への備え	3	1 意見・提案・要望	・震災時トイレが心配で避難すべきか否か迷っています。（心臓腎臓が悪い為）
		2 どちらでもない (その他)	・具体的に活動している事が身近ではないので活動だけでなく、どこに行っても良いのか、わかるようにしてもらいたい。地震の避難訓練も場所がわからない人が沢山います。炊き出しにいつも力を入れているが助かってからの話でその前の事が何もしていない。栄区だけが他の県よりまったく地震の取り組みが出来てないのでいち早く改善して早く避難場所がわかるマップを作って安心して住めるまちづくりを考えてもらいたい。
高齢者の安全	6	4 肯定 (満足・前向き)	・個人の問題解決は難しいと思いますが、地域で犯罪から守れることもあると思います。高齢者の一人暮らしが増加しているので、地域で守ることは必要だと感じました。
		2 意見・提案・要望	・老人世帯で生活の質が、今後ますます下がっていくと思います。救急相談電話のように、生活の些細な問題を相談できる窓口があるといいのですが。 ・高齢者の交通事故撲滅策として運転免許書返納を推進するためにも敬老バス制度は今後とも維持して欲しい。 ・知らない事が多かった。横のつながり、縦のつながりが、できてくると良いと思った。又、高齢者をだます詐欺は、絶対に許してはいけなくと思う。
交通安全	5	1 肯定 (満足・前向き)	・交通事故を防ぐための自転車専用レーンの整備が遅れていると思います。今だに歩道を我者顔で走って行く自転車が多く、常々危ないと思っていました。乗車マナーとあわせて取り組むべきです。
		1 否定 (不満・不安・疑問)	・信号機の設置など、行政の強力な取組みと具体化が欲しい。
		3 意見・提案・要望	・横断歩道に立っていても止まる車がほとんど無い現状は、非常にキケン！！ ・区内の走行速度は、20km以下と定めるなど認証都市ならではのルールが欲しい。
生活の安心・安全	5	2 否定 (不満・不安・疑問)	・子供がいない人達、老人にも優しい町であってほしい。
		2 意見・提案・要望	・セーフコミュニティ以前に近所づきあひもないのでどうしようもない。賃貸住宅に7年くらいして公園などにも子供を連れて行くのが住民とコミュニケーションがほとんど取れない。皆に警戒されているように感じる。
		1 どちらでもない (その他)	
子育て支援と虐待の防止	4	3 意見・提案・要望	・栄区は子ども支援のコミュニティ場が少なく感じる。港南区に足を運ぶ人も多い。できることなら、自宅近くでの遊び場が来やすい雰囲気になると栄区も若い人にとって住みやすくなると思う。公園、広場の充実です。（日陰の場を作る、水あそびの場を作るetc）
		1 否定 (不満・不安・疑問)	・いろいろ言ってもそもそもは家庭でのしつけからだと思います。
防犯対策	2	1 意見・提案・要望	・家に停めていた自転車を2回も盗まれた。窃盗に対して強化すべき。安全な街だと思いたいです。
		1 否定 (不満・不安・疑問)	
こどもの安全	1	1 意見・提案・要望	・年々不登校の子供が増えているので、そういう子供達の行き場所を作ってほしい。
自殺予防対策	1	1 意見・提案・要望	・気軽に相談できる場所があると良い。（自殺予防など）
総計	65		

3 回答者の属性

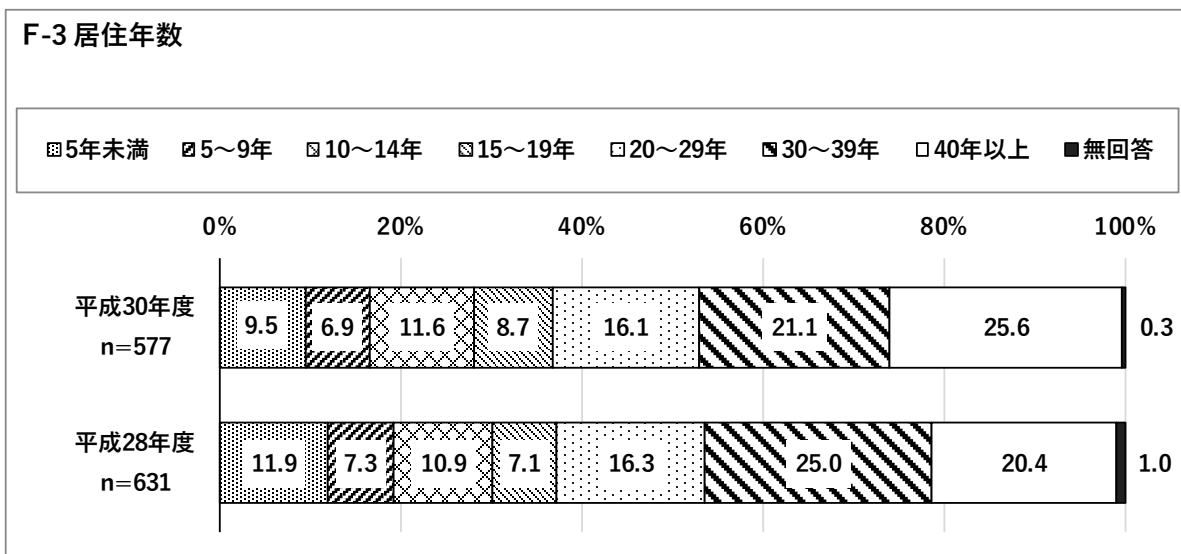
(1) 性別



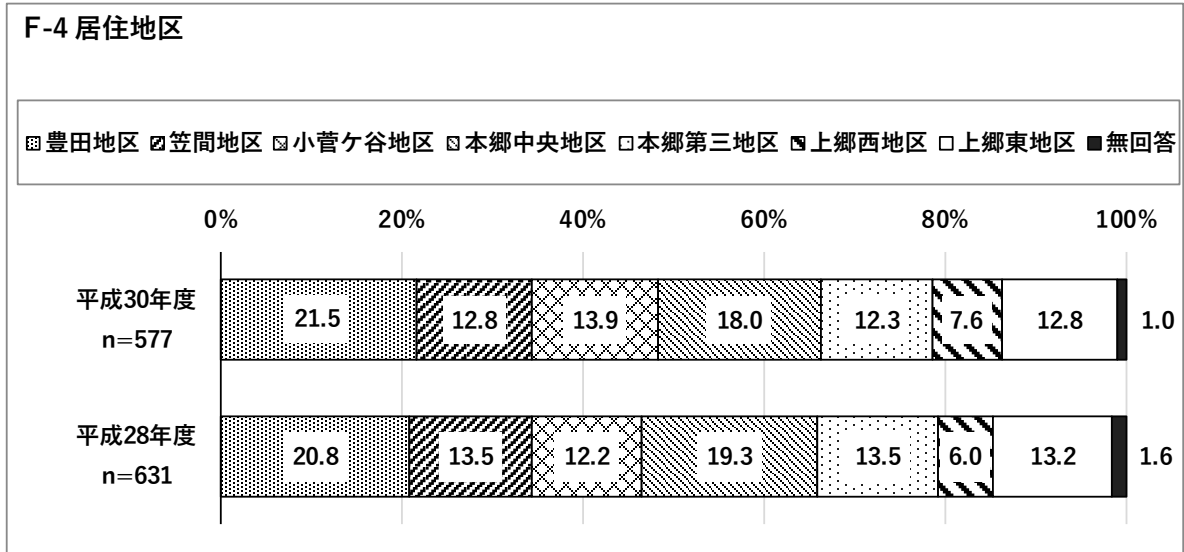
(2) 年齢



(3) 居住年数



(4) 居住地区



豊田地区 : 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
 笠間地区 : 笠間町、笠間一丁目～五丁目
 小菅ヶ谷地区 : 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
 本郷中央地区 : 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
 本郷第三地区 : 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
 上郷西地区 : 犬山町、尾月、上之町、亀井町
 上郷東地区 : 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町
 ※ 町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

(5) 家族形態

